

政策シート 政策名 08 漁港などの基盤整備による水産業の振興

予算費目名 01 水産業振興推進費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後) ◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

政策の柱 (10年後) ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。  
◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。  
◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

漁港などの漁業基盤整備により、漁業者の利便性向上や漁労活動の円滑化による水産業の振興を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑫生産・消費								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	68,059	42,423	141,260	56,585	73,567	108,635
決算	66,934	69,918	71,346	108,099	42,356	104,471
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	8,400	8,400	12,250	7,700	2,800	8,760
年間経費(決算+A+B)	75,334	78,318	83,596	115,799	45,156	113,231

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
水産業協同組合の年間取扱高	百万円	目標	8,704	8,780	8,856	8,932	9,008	9,084
		実績	8,595	7,945	7,169	8,785	10,073	10,425
村檜漁港整備進捗率	%	目標	95	95	95	95	100	100
		実績	80	85	85	90	95	95
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

漁港などの漁業基盤整備により、漁業者の利便性向上や漁労活動の円滑化による水産業の振興を図る。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

漁港などの漁業基盤整備(村檜漁港機能保全事業・県営漁港整備事業負担金)を実施し、漁業者の利便性向上や漁労活動の円滑化による水産業の振興を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	漁港管理事業	○	○		113,231	108,635	1.2	0.1			
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					113,231	108,635	1.2	0.1			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 漁港管理事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

漁港施設の維持管理や整備を行い、漁港機能を維持するとともに、漁業者の利便性及び安全性の向上と漁労活動の円滑化を図る。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
	-	一般会計	自治事務(その他)	

### (3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(4)イ				

### (4) 関連するSDGsのゴール

	②飢餓							
	⑩生産・消費							
事業とゴールの 関連性	漁港の改修を進め、漁業者の利便性の向上に努め、水産資源の管理や保護対策を実施し、水産業の振興を図り、水産物の安定供給に努める。							

## 2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	68,059	42,423	141,260	56,585	73,567	108,635
	決算	66,934	69,918	71,346	108,099	42,356	104,471
	国・県支出	25,030	21,535	11,705	17,000	9,000	9,500
	市債	16,800	12,700		15,300		50,500
	その他	2,643	2,636	2,625	2,607	2,593	2,738
	一般財源	22,461	33,047	57,016	73,192	30,763	41,733
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,400	8,400	12,250	7,700	2,800	8,760
人工	正規	1.2	1.2	1.8	1.1	0.4	1.2
	再任用(31h)						0.1
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		75,334	78,318	83,596	115,799	45,156	113,231

## 3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
水産業協同組合の年間取扱高(百万円)		目標	8,704	8,780	8,856	8,932	9,008	9,084
		実績	8,595	7,945	7,169	8,785	10,073	10,425
村檜漁港整備進捗率(%)		目標	95	95	95	95	100	100
		実績	80	85	85	90	95	95
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

#### 4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

1 漁港維持管理事業  
(1) 市営村櫛漁港の清掃・除草等管理業務委託  
(2) 舞阪水産物荷さばき所施設用地占用料  
(3) 漁港施設の適正な管理をするための備船調査費  
(4) 漁港施設の突発的な破損等に対応するための修繕工事

2 漁港整備事業  
(1) 村櫛漁港施設及び漁港区域内施設  
村櫛漁港臨海護岸機能保全工事(水産物供給基盤機能保全事業)  
村櫛漁港前田物揚場機能保全工事詳細設計業務委託  
(2) 静岡県建設事業等市町村負担金(県営舞阪漁港整備)  
水産流通基盤整備事業、水産物供給基盤機能保全事業、県単独漁港整備事業



#### 5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題  
指標の達成度

1 漁港維持管理事業  
漁港施設を適切に管理するための施設の補修工事等を計画的に実施したことで、安全性の確保を図ることができた。

2 漁港整備事業  
県営舞阪漁港における県の水産流通基盤整備事業及び水産物供給基盤機能保全事業、並びに市営村櫛漁港の機能保全計画に基づく保全工事を実施したことで、施設の安全性と利便性の確保を保つことができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)  
大項目  小項目  /  事業費  人工

1 漁港維持管理事業: 村櫛漁港における巡回・清掃等の業務委託や占用料、使用料を徴収することにより漁港の管理を図った。

2 漁港整備事業: 村櫛漁港機能保全事業を継続実施することにより、漁港機能の長寿命化を図った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)  
大項目  小項目  /  事業費  人工

1 漁港維持管理事業: 引き続き、村櫛漁港における巡回・清掃等の業務委託や占用料、使用料を徴収することにより漁港の管理を図っていく。

2 漁港整備事業: 村櫛漁港機能保全事業を継続実施することにより、漁港機能の長寿命化を図る。